

福島県産業廃棄物排出処理状況確認調査業務報告書（概要版）

1. 調査の概要

(1) 目的

本調査は、産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書を基に、福島県における産業廃棄物の排出・処理状況の実態を推計、解析することにより、県内の産業廃棄物の排出抑制及び適正処理の促進に活用することを目的に実施しました。

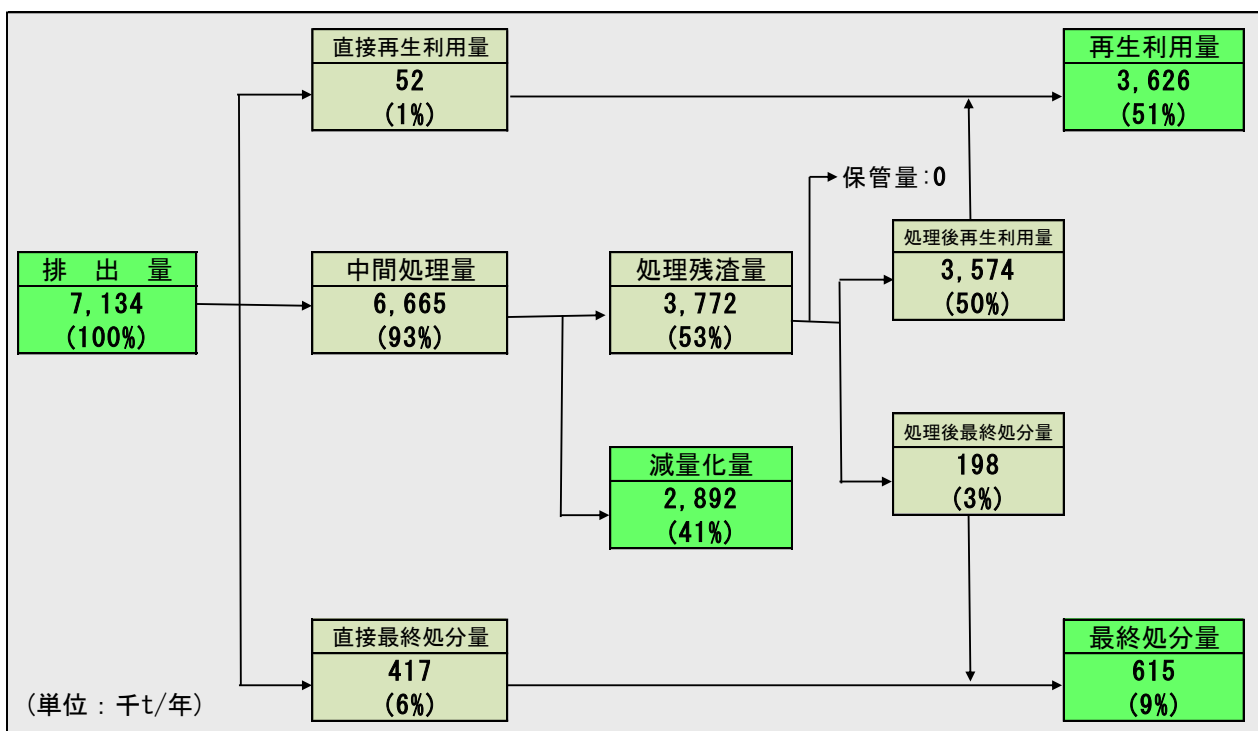
(2) 概要

- ①対象期間 令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）。
- ②対象業種 鉱業、建設業、製造業、電気・ガス・水道業、運輸業、卸・小売業、医療・福祉業、サービス業等の全産業。
- ③対象廃棄物 燃え殻、汚泥、廃油、廃プラスチック類、木くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、ばいじん等の全ての産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物。

2. 調査の結果

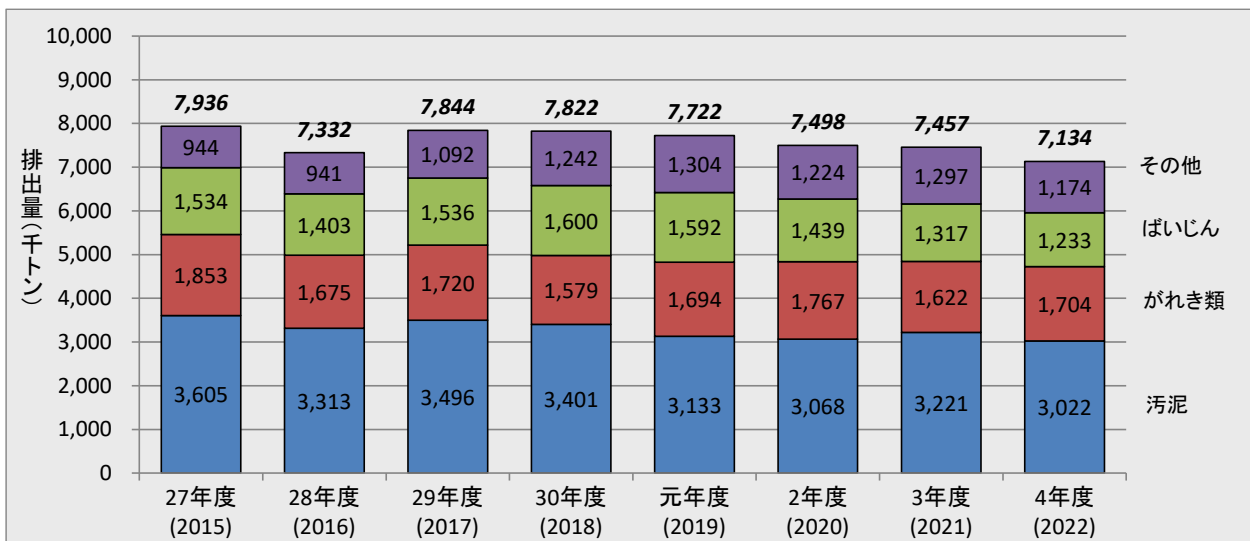
(1) 排出及び処理の概要

令和4年度の1年間に福島県で発生した産業廃棄物の排出量は713万4千トンとなっています。排出量の93%が排出事業者または産業廃棄物処理業者により中間処理されており、この中間処理により289万2千トン（排出量の41%）が減量されています。再生利用量は362万6千トン（排出量の51%）となっており、最終処分量は61万5千トン（排出量の9%）となっています。



(2) 排出の状況

排出量を産業廃棄物の種類別にみると、汚泥が最も多く、次いで、がれき類、ばいじんとなっています。汚泥はパルプ・紙製造工場などの製造業からの排出量が多く、がれき類は建設業から、ばいじんは主に石炭火力発電所から排出されています。

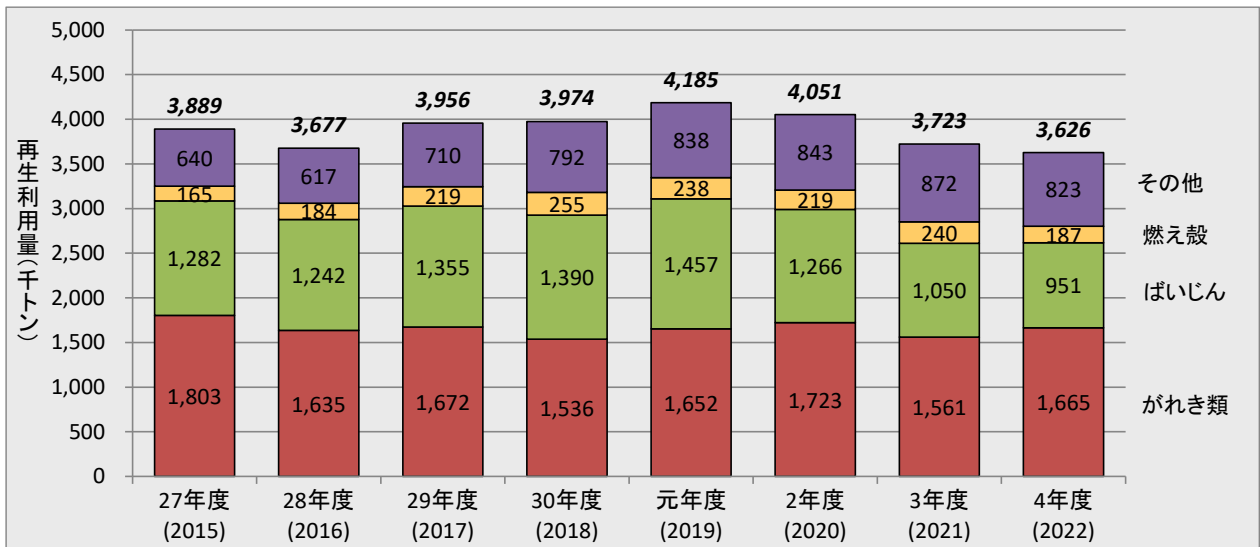


(単位：千t/年)

業種	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	7,134 (100%)	165 (2%)	2,170 (30%)	2,419 (34%)	2,244 (31%)	5 (0%)	7 (0%)	10 (0%)	88 (1%)	25 (0%)
燃え殻	174 (2%)		4	15	154	0			0	0
汚泥	3,022 (42%)	165	73	1,902	859	1	1	1	18	3
廃油	36 (1%)		1	25	0	1	0	0	8	0
廃酸	18 (0%)		0	16	0	0	1	0	2	0
廃アルカリ	101 (1%)		3	94	0	0	0	0	2	0
廃プラスチック類	164 (2%)	0	45	80	1	2	4	2	28	3
紙くず	7 (0%)		5	2						0
木くず	250 (4%)		247	3		0	0		0	0
繊維くず	4 (0%)		4							
動植物性残さ	18 (0%)			18						
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)			0						
金属くず	27 (0%)	0	10	7	0	0	0	0	7	1
ガラス陶磁器くず	166 (2%)	0	42	101	6	1	1	1	12	1
鉱さい	141 (2%)		1	116	23	0			1	0
がれき類	1,704 (24%)		1,699	3	0					3
ばいじん	1,233 (17%)		0	31	1,201				0	0
動物のふん尿	10 (0%)									10
その他	59 (1%)		36	4	0	0	0	6	9	3

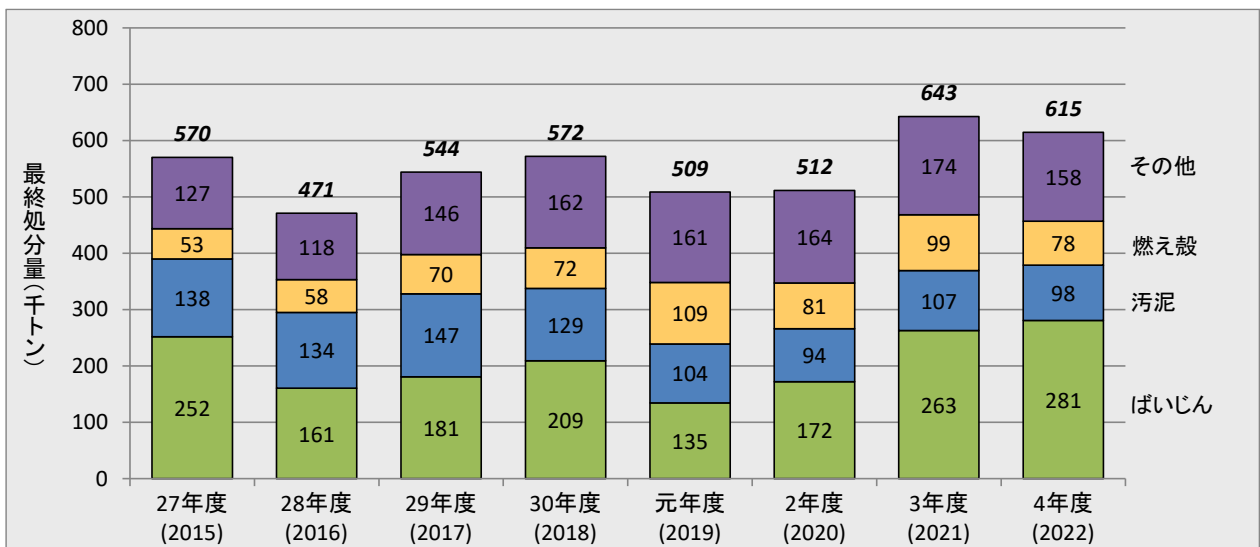
(3) 再生利用の状況

再生利用量を種類別にみると、がれき類及びばいじんが多い状況です。



(4) 最終処分の状況

最終処分量を種類別にみると、ばいじんが最も多く、次いで、汚泥、燃え殻となっています。



(5) 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況

福島県廃棄物処理計画(令和4年1月)で令和8年度における目標値を設定し、達成状況の進行管理をしています。

令和4年度は、排出量の目標値は達成していますが、再生利用率と最終処分率の目標値は達成していません。

年度	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)	2年度(2020)	3年度(2021)	4年度(2022)	目標値 令和8年度 (2026)
排出量(万トン)	794	733	784	782	772	750	746	713	770以下
再生利用率	49%	50%	50%	51%	54%	54%	50%	51%	52%以上
最終処分率	7%	6%	7%	7%	7%	7%	9%	9%	6%以下